



2026.1.13 発行
田園調布学園大学
みらいこども園
(看護師 板橋 裕希子)



あけましておめでとうございます。新しい1年のスタートです。年末年始の冬休みは楽しく過ごせましたか。インフルエンザや溶連菌でお休みのまま冬休みに入られたお子さんもいました。また、同時感染や軽快後に日を置かず罹るケースもありました。まだまだ冬本番です。病気に負けない体作りのためにも睡眠、栄養、運動を大事に過ごしましょう。

溶連菌

みらいこども園では12月に入り、溶連菌でお休みのお子さんが増えました。中原区でもインフルエンザに次いで数多く報告されています。

罹患後の登園には登園許可書が必要ですが、長期の休暇中に出席停止期間が終了する場合、まずは主治医にご確認ください。不要の場合も登園の際には健康連絡カードへ記入し提出をお願いいたします。

- 溶血性レンサ球菌が原因
- 潜伏期間 2~5日
- 症状 熱、のどの痛み、腫れ リンパ節の炎症、舌がイチゴ状に赤く腫れる、鮮紅色の発疹、など
- 予防接種はありません。飛沫感染や接触感染でうつりますので手洗い励行です。
- 処方された抗菌薬を内服し24~48時間すると回復傾向になり、登園許可となります。体の中には菌が残っているので薬は飲み切りましょう。治療が不十分だと合併症を起こすことがあります。
- 症状が改善した後も尿検査で腎炎の合併症を起こしていないか、確認します。
- 流行時期は冬と春から夏にかけてという2つの時期があります。

熱やのどの痛みなどから始まり、風邪と見分けがつきません。高熱が出ないお子さんもいます。喉の痛みや、腫れのためか食事がすすまない。何度も咳払いをする。といった様子がみられました。感染症が流行している時期は特に、解熱しても発熱後24時間はご家庭で経過をみたり、受診することをおすすめします。

健診のお知らせ

1月8日(木) 13:00 2歳児、5歳児(2号認定こども)

※都合により日程が変更になることがあります。その都度事前にご連絡いたします。

